

井川町教育委員会 4 月定例会会議録

1. 日時 令和6年4月24日（水）午前9時20分～午前11時

2. 場所 井川義務教育学校

3. 出席委員

教育長	六郷博志
委員	小武海文恵
委員	遠藤勇人
委員	佐藤聡子
委員	齋藤正仁

4. 会議に出席した事務局職員

事務局長	湊和樹
事務局次長	若狭善友
主事	石川知里

5. 会議

(1) 議案

議案第9号 井川町立井川義務教育学校管理規則の一部を改正する規則について

議案第10号 令和6年度就学援助児童生徒の認定について

(2) 報告事項

①井川町教育委員会事務点検・評価報告書に係る外部評価について

②教育委員会・公民館・学校関係行事予定について

(3) その他

6. 会議の経過

事務局長 今定例会の議事録署名員に小武海委員、遠藤委員を提案。
(全員提案を了承)

進行を教育長に求める。

教育長 議案に入る。議案第9号井川町立井川義務教育学校管理規則の一部を改正する規則について事務局に説明を求める。

事務局長 安定した学校経営を図るため、実態に即した休業日を指定する必要があることから、所要の改正をするものである。

教育長 議案第9号について承認してよろしいか。

全員 異議なし。

教育長 議案第9号を承認とする。

教育長 議案第10号令和6年度就学援助児童生徒の認定について事務局から説明を求める。

事務局長 (申請者について説明)

齋藤委員 基準に達しているのであれば問題無いと思う。

教育長 議案第10号について認定してよろしいか。

全員 異議なし。

教育長 議案第10号を承認とする。

教育長 続いて報告事項に入る。①井川町教育委員会事務点検・評価報告書に係る外部評価について説明をする。外部評価委員から評価の仕方について指摘があったため、その点について改善した。

委員 学力の向上について、評価する目安をどこに置くか様々な意見があると思う。県平均を目標にするかどうかは別にして、それをにらみながらやっていくのは必要ないんじゃないのかなと思う。

委員 学力の向上について、毎年子ども達の学力に違いはあるし、県平均を目標にする意味はあるのかなと思う。簡単な授業をすればみんなよくわかると思うが、それでは学力は伸びない。難しい問題を一生懸命解くことが学力を伸ばすためには必要。授業がよくわかるから成績が良くなるとは限らない。それよりも「夢中になって勉強する姿が見える」など、そういったことを目標にしたらいいいのでは。

委員 学力調査の県平均を上回ったり下回ったりしていても、最終の進学先を見ると毎年あまり変化がないような気がする。あまり数値目標に執着しなくても、それぞれの学年の子ども達の理解が深まるような授業をしてくれたらいいのではないかと思う。

教育長 では、各学年の成績が前年と比べて伸びたかどうかを見るために前年比を数値の目標にするのはいかがか。

委員 前年比と比較すると一つの集団がどう伸びたかわかるので、それだったら意味があると思う。

教育長 体力調査についても前年比の目標にしたらいいいのかと考えている。ここ数年結果の数値が下がっている傾向にある。

委員 バス通学の影響もあるかもしれない。

委員 バス通学もそうだし、以前のように休み時間にみんなで一斉に走る元気タイムの様な時間も無いし、運動量が減ったと思う。

教育長 スポ少の加入率も下がっている。
教育長 ②教育委員会・公民館・学校関係行事予定について事務局に説明を
求める。
事務局長 (教育委員会・公民館・学校関係行事予定について説明)

ほかに無い旨を確認し、終了とする。